



特集 わが町の稻づくり

七五〇キロにじどむ 五石どりしまひと息

(其の一) 本城の部

昭和四二年度の集団七五

○キロどりに参加して、七

二八、三キロの成績をあげ

準特別賞をかちえた、森吉

町本城農業技術研究会のあ

ゆみと、このグループの稻

づくりについて、現地報告

をしてみたい。

本城農業技術研究会が発

足したのは、昭和二九年三

戸数約一三〇戸、水田面

積一〇〇ヘクタールの部落

で、この地方では以前から

稻づくりに熱心などころと

して知られている。

本城農業技術研究会が発

足したのは、昭和二九年三

月であるが、このグループ

の誕生にとって、大きな陰

の力となつたものに、旧本

城農協(四一年四月米内沢

農協と合併)の活動と、瑞

穂行学者の教育がある。

旧本城農協は、大正二年

の設立で、秋田県農協の草

分けであった。金融、販売

購買などのほかに、加工部

門で味噌醤油の製造販売を

行って、農家の生活面を大

いに潤したと古い記録に残

っている。とくに、昭和二

七年度に、農協が事業主体

となつて、関係面積一〇〇

ヘクタールの区画整理(交

換分合を含め)を行ない、

共同作業ができるようにな

ったことなど、常に農家と農

協との密着が保れていた。

森吉町が生んだ、すぐれ

た農村教育者、故金作之助

先生の創立された、瑞穂行

学舎は昭和二年から一五年

までの間に、数多くの有為

な農村青年を育てた。この

研究会の会長金仁一郎氏も

その門下生である。

森吉町が生んだ、すぐれ

た農村教育者、故金作之助

